

平成26年度

教育委員会の活動状況報告書

山梨県教育委員会

## 目 次

まえがき	1
第1 教育委員会の活動状況	2
1 教育委員会会議の開催状況	2
2 一日教育委員会等の開催状況	8
3 その他の活動状況	12
第2 教育行政の点検・評価	15
1 評価の概要	15
2 内部評価	16
3 アドバイザー評価（事務事業）	17
別表1 内部評価結果一覧	23
別表2 アドバイザー評価（事務事業）結果一覧	24
第3 「やまなしの教育振興プラン」について	25
1 「新やまなしの教育振興プラン」の施策体系と主な事業	26
2 「やまなしの教育振興プラン」の達成状況	35

## まえがき

この報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、県教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について自ら点検・評価を行い、その結果を報告書として取りまとめ、山梨県議会に提出するとともに、一般に公表するものです。

県教育委員会では、平成21年2月に本県教育振興の基本計画である「やまなしの教育振興プラン」を策定し、計画期間である平成25年度まで各種施策に取り組んできました。

一方、ライフスタイルや価値観の多様化、少子高齢化・核家族化、雇用形態の多様化など、教育を取り巻く環境が大きく変化する中であって、子どもの学ぶ意欲や学力・体力の低下、いじめや不登校の増加など、様々な問題が指摘されています。

このような状況を受け、本県教育のより一層の振興を図るため、平成26年2月に、平成26年度から30年度までの5年間の計画期間とする『新やまなしの教育振興プラン』を策定しました。

この新プランでは、「未来を拓く『やまなし』人づくり」の基本理念の下、「夢と希望に向かって自ら学び、考え、行動する『たくましい力』を育てる」と、「他者を思いやり、社会の絆を深める『しなやかな心』を育む」の2つを基本目標とし、これを実現するために、10の基本方針および目標となる指標の実現に向け取り組みを進めているところです。

本報告書の結果を踏まえ、本県教育の一層の振興に努めて参りますので、今後とも県民の皆様の、御理解と御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成27年2月

山梨県教育委員会

# 第1 教育委員会の活動状況

## 1 教育委員会会議の開催状況

平成26年2月1日～平成27年1月末

### 会議開催回数

定例会	18回
臨時会	2回

### 付議事項数

議案	68件
報告事項	13件
その他報告	37件

平成25年度

第16回定例会（2月7日）

#### ・議案（16件）

平成25年度2月補正予算概要

平成26年度当初予算概要

山梨県立宝石美術専門学校設置及び管理条例の一部を改正する条例

教育委員会の活動状況報告書について

「新やまなしの教育振興プラン」の策定について

山梨県立青少年センター設置及び管理条例等の一部を改正する条例

山梨県学校職員給与条例の一部改正について

山梨県いじめ防止対策推進法施行条例

山梨県立学校授業料、入学金及び入学審査料条例の一部を改正する条例

山梨県社会教育委員に関する条例の一部を改正する条例

山梨県立男女共同参画推進センター設置及び管理条例の一部を改正する条例

山梨県教育委員会の事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例

児童生徒の芸術に対する感性や郷土の歴史及び文化に対する理解を育む取組の一層の推進を図るための関係条例の整備に関する条例

児童生徒の芸術に対する感性や郷土の歴史及び文化に対する理解を育む取組の一層の推進を図るための関係条例の整備に関する条例の施行に伴う関係規則の整備に関する規則

山梨県立美術館協議会委員の委嘱について

山梨県立考古博物館協議会委員の委嘱について

#### ・その他報告（5件）

高校に在籍する発達障害者等サポート事業について

やまなしスポーツ推進プログラムの策定について

第69回国民体育大会冬季大会スキー競技会の山梨県選手団の編成について

平成25年(2013)「やまなしスポーツ賞」について

## 第69回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会の結果について

### 第2回臨時会（2月13日）

- ・議案（1件）  
職員の処分について

### 第17回定例会（3月11日）

- ・議案（5件）  
小中学校長の人事異動について  
「山梨県いじめの防止等のための基本的な方針」(案)について  
県立学校長の人事異動について  
山梨県社会教育委員の委嘱・任命について  
教育委員の辞職について
- ・報告事項（3件）  
小中学校教頭の人事異動について  
指導が不適切な教員について  
県立学校教頭の人事異動について
- ・その他報告（4件）  
山梨県立都留興譲館高等学校の開校式について  
平成25年度山梨ことぶき勸学院卒業式について  
「平成25年度山梨県新体力テスト・健康実態調査」調査結果の概要について  
第69回国民体育大会冬季大会スキー競技会の結果について

### 第18回定例会（3月20日）

- ・議案（3件）  
山梨県立学校授業料及び入学料の収納に関する規則及び山梨県立高等学校学則の一部を改正する規則  
山梨県教育支援委員会規則  
山梨県銃砲刀剣類登録審査委員の任命について
- ・その他報告（3件）  
山梨県立高等学校の授業料の徴収に係る基準修業年限等を定める規則を廃止する規則  
身延・南部地域中高連携推進検討委員会の検討状況について  
大月市立大月短期大学附属高等学校の廃止について

### 第3回臨時会（3月24日）

- ・議案（9件）  
教育長の任命について  
教育委員会所属長等の人事について  
山梨県立宝石美術専門学校管理規則の一部を改正する規則  
山梨県教育委員会委任規則等の一部を改正する規則

山梨県教育委員会公印管理規程の一部を改正する訓令  
山梨県教育委員会公印規程の一部を改正する告示  
山梨県教育職員免許に関する規則の一部を改正する規則  
考古博物館館長の人事について  
山梨県緑が丘スポーツ公園の管理について

- ・ 報告事項 ( 1件)  
県立学校事務長等の人事について
- ・ その他報告 ( 1件)  
山梨県立文学館の設備器具の使用料の額を定める規則の一部を改正する規則

平成26年度

第1回定例会 (4月16日)

- ・ 議 案 ( 3件)  
平成26年度山梨県教科用図書選定審議会委員の委嘱・任命について  
平成26年度山梨県教科用図書選定審議会に諮問する事項について  
職員の処分について
- ・ その他報告 ( 1件)  
平成26年度山梨ことぶき勸学院の入学式について

第2回定例会 (5月14日)

- ・ 議 案 ( 2件)  
平成27年度山梨県公立高等学校入学者選抜の基本事項について  
山梨県スポーツ推進審議会委員の委嘱・任命について
- ・ その他報告 ( 1件)  
平成27年度採用山梨県公立学校教員選考検査実施要項について

第3回定例会 (5月28日)

- ・ 議 案 ( 2件)  
職員の処分について  
山梨県立学校設置条例の一部を改正する条例
- ・ 報告事項 ( 1件)  
平成26年度公立高等学校入学者選抜学力検査成績調査結果報告書について
- ・ その他報告 ( 1件)  
平成27年度山梨県公立高等学校入学者選抜における前期募集選抜方法について

第4回定例会 (6月11日)

- ・ 議 案 ( 3件)  
平成26年度6月補正予算概要  
山梨県立学校いじめ問題対策委員会委員の委嘱・任命について  
山梨県立本栖湖青少年スポーツセンター設置及び管理条例を廃止する条例

- ・ 報告事項 ( 1件)  
平成26年度山梨県教科用図書選定審議会の答申について
- ・ その他報告 ( 1件)  
第71回国民体育大会関東ブロック大会(平成28年)の開催について

#### 第5回定例会 (7月7日)

- ・ 議 案 ( 4件)  
山梨県立特別支援学校学則及び山梨県立特別支援学校通学区域等に関する規則の一部を改正する規則  
山梨県立学校処務規程の一部を改正する訓令  
山梨県図書館協議会委員の委嘱・任命について  
山梨県考古博物館協議会委員の委嘱・任命について
- ・ その他報告 ( 1件)  
平成26年度山梨県学力把握調査結果の概要について

#### 第6回定例会 (7月24日)

- ・ 議 案 ( 1件)  
平成27年度山梨県立特別支援学校幼稚部及び高等部入学者選抜の基本事項について
- ・ その他報告 ( 4件)  
山梨県図書館協議会委員の公募について  
山梨県社会教育委員の公募について  
平成26年度全国高等学校総合体育大会の開催について  
山梨県美術館協議会委員の公募について

#### 第7回定例会 (8月27日)

- ・ 議 案 ( 2件)  
職員の処分について  
山梨県指定文化財の指定について
- ・ その他報告 ( 2件)  
平成26年度全国学力・学習状況調査の結果について  
平成26年度全国高等学校総合体育大会の結果報告について

#### 第8回定例会 (9月10日)

- ・ 議 案 ( 3件)  
平成26年度9月補正予算概要  
山梨県文化財保護審議会委員の委嘱について  
山梨県立美術館協議会委員の委嘱・任命について
- ・ 報告事項 ( 3件)  
平成27年度採用山梨県立学校実習助手、寄宿舎指導員選考検査について

平成27年度使用山梨県高等学校(特別支援学校高等部を含む)用教科用図書採択結果について

平成27年度使用山梨県立特別支援学校用教科用図書採択結果について

- ・その他報告 (1件)  
山梨県薬事法関係手数料条例等の一部を改正する条例

#### 第9回定例会(10月10日)

- ・議案 (3件)  
山梨県図書館協議会委員の委嘱・任命について  
山梨県社会教育委員の委嘱・任命について  
山梨県考古博物館協議会委員の委嘱・任命について
- ・報告事項 (3件)  
平成26年度山梨県教育功労者表彰について  
平成27年度採用山梨県公立学校教員選考検査について  
平成26年度四川省教育交流推進事業について
- ・その他報告 (2件)  
平成26年度中学校卒業予定者の第1次進路希望調査結果の概要について  
山梨県立高等支援学校桃花台学園の制服について

#### 第10回定例会(10月29日)

- ・その他報告 (3件)  
平成25年度「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」結果について  
山梨県社会教育委員の提言について  
第69回国民体育大会の結果について

#### 第11回定例会(11月5日)

- ・議案 (1件)  
平成27年度山梨県公立高等学校等入学者募集定員について

#### 第12回定例会(11月25日)

- ・議案 (6件)  
平成26年度12月補正予算概要  
山梨県職員の配偶者同行休業に関する条例の制定に伴う関係条例の一部改正  
山梨県知事、副知事、公営企業の管理者、教育長及び常勤監査委員の通勤手当及び期末手当支給条例の一部を改正する条例  
山梨県学校職員給与条例及び山梨県一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例  
山梨県職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例  
山梨県立青少年自然の里設置及び管理条例の一部を改正する条例
- ・その他報告 (1件)



## 山梨県立高等支援学校桃花台学園の校章について

### 第13回定例会（12月12日）

- ・ 議 案 （ 1件）  
職員の処分について
- ・ 報告事項 （ 1件）  
平成27年度採用山梨県立学校実習助手（農業、工業）及び山梨県立特別支援学校寄宿舎指導員選考検査結果について
- ・ その他報告 （ 2件）  
平成27年度県下市町村の「成人式」について  
平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について

### 第14回定例会（1月6日）

- ・ その他報告 （ 2件）  
平成26年度中学校卒業予定者の第2次進路希望調査結果の概要について  
平成27年度山梨県公立高等学校全日制課程における再募集の検査方法について

### 第15回定例会（1月21日）

- ・ 議 案 （ 3件）  
山梨県指定文化財の指定について  
山梨県指定文化財の指定について  
山梨県指定文化財の指定について
- ・ その他報告 （ 2件）  
「やまなしの教育振興プラン」の目標となる指標の達成状況について  
第70回国民体育大会スケート・アイスホッケー競技会の山梨県選手団の編成について

## 2 一日教育委員会等の開催状況

### (1) 一日教育委員会（教育懇談会）

#### ①平成26年度第1回一日教育委員会（教育懇談会）

平成26年8月20日に、上野原市文化ホールにおいて「平成26年度第1回一日教育委員会（教育懇談会）」を開催しました。

会場には、富士・東部教育事務所管内のPTA関係者など県民約110名が訪れました。県の教育委員会からは、6名の教育委員をはじめ、各課室長、富士・東部教育事務所長、副所長が出席しました。

杉原教育委員長の挨拶のあと、阿部教育長から「平成26年度主要施策の概要」の説明があり、その後、意見交換が行われました。

参加された方々からは、

「登下校の安全管理対策について」

「子どもの学力低下対策について」

「特別支援学校卒業後について」

「東部地域への文化施設の整備について」

「人口減少対策について」

「教育委員会の広報活動について」など様々な意見が出されました。

教育委員会では、皆様からのご意見を今後の教育行政に活かしていくこととしています。

【平成26年8月20日】

<一日教育委員会（教育懇談会）の様子>



#### ②平成26年度第2回一日教育委員会（教育懇談会）

平成26年10月29日に、身延町総合文化会館において「平成26年度第2回一日教育委員会（教育懇談会）」を開催しました。

会場には、峡南教育事務所管内のPTA関係者など県民約100名が訪れました。県の教育委員会からは、6名の教育委員をはじめ、各課室長、峡南教育事務所長が出席しました。

石川教育委員長の挨拶のあと、阿部教育長から「平成26年度主要施策の概要」の説明があり、その後、意見交換が行われました。

参加された方々からは、

「少人数学級制について」

「学校図書館の活用について」

「いじめ・不登校対策について」

「中学校の部活動について」

「特別支援学級について」

「防災・防犯対策について」など様々な意見が出されました。

教育委員会では、皆様からのご意見を今後の教育行政に活かしていくこととしています。

【平成26年10月29日】

<一日教育委員会（教育懇談会）の様子>



## (2) 児童生徒と語る一日教育委員会

### ①平成26年度第1回児童生徒と語る一日教育委員会

平成26年7月9日に、甲斐市立双葉東小学校において、「平成26年度第1回児童生徒と語る一日教育委員会」を開催しました。当日は、教育委員が5・6年生の各教室にて講話をし、その後意見交換が行われました。

その概要は以下のとおりです。

#### ア 参加者

双葉東小学校児童、教職員、及び県教育委員

#### イ 概要

教育委員が5・6年生の5クラスにそれぞれ1人ずつ分かれ、各教室で以下の題名で講話をし、その内容に沿って意見交換が行われました。

講話した委員名	テーマ
杉原委員長	すばらしい地域の自然と人との関わり
石川委員長職務代理者	私たちの暮らし -農作物の地産地消-
長田委員	伝えるチカラ
白川委員	ものづくりのたのしさ
飯室委員	思いやりの心と感謝

その後、児童からは、

「山梨にはいろいろな自然や生き物がいることがわかった。」

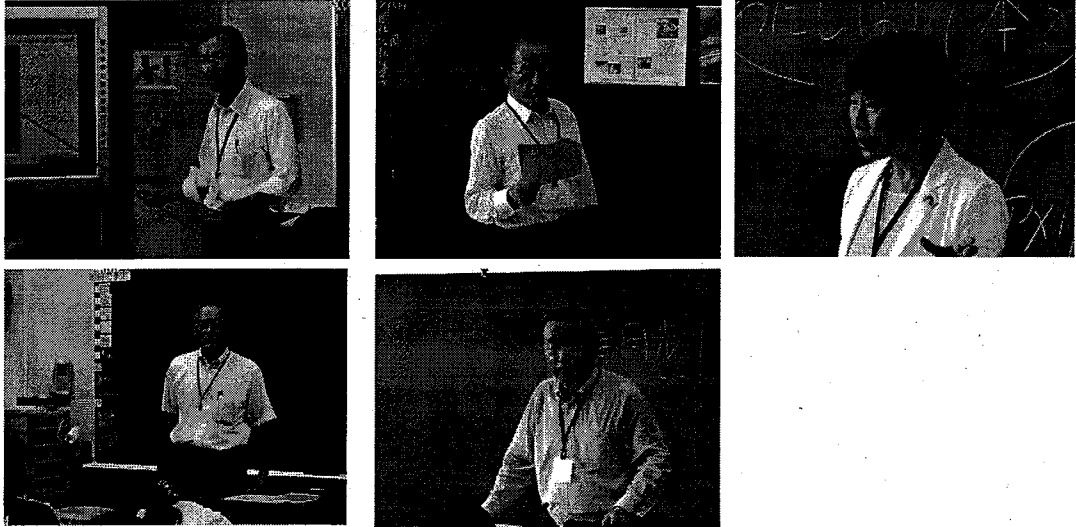
「山梨の自然を守っていきたくと思った。」

「これから伝えたいことがしっかり伝わるようになりたい。」

「将来ものづくりや発明の仕事をしてみたい。」  
等の意見が聞かれました。

【平成26年7月9日】

＜児童生徒と語る一日教育委員会の様子＞



## ②平成26年度第2回児童生徒と語る一日教育委員会

平成26年11月12日、笛吹市立春日居中学校において、「平成26年度第2回児童生徒と語る一日教育委員会」を開催しました。当日は、教育委員が1～3年生の各教室にて講話をし、その後意見交換が行われました。

その概要は以下のとおりです。

### ア 参加者

春日居中学校生徒、教職員、及び県教育委員

### イ 概要

教育委員が1～3年生の5クラスにそれぞれ1人ずつ分かれ、各教室で以下の題名で講話をし、その内容に沿って意見交換が行われました。

講話した委員名	テーマ
石川委員長	山梨の交通いま・むかし
長田委員長職務代理者	伝えるチカラ
白川委員	ものづくりのたのしさ
飯室委員	思いやりの心と感謝
和田委員	いのちの使い方

その後、児童からは、

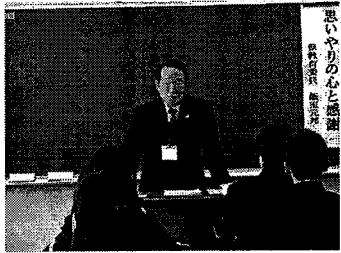
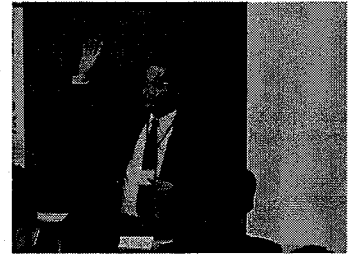
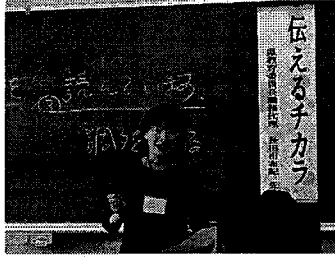
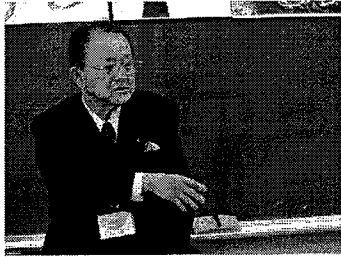
「3Dプリンタはいくらくらいしますか。」

「失敗を恐れずにいろいろなことに挑戦したい。」

「中部横断自動車道が全線開通したら日本海側までいけるのか。」  
等の意見が聞かれました。

【平成26年11月12日】

＜児童生徒と語る一日教育委員会の様子＞



### 3 その他の活動状況

平成26年

- 2月13日 ひばりが丘高等学校創立10周年記念式典  
＜出席者：杉原委員長職務代理者＞
- 3月10日 いじめ防止基本方針策定協議会答申 ＜出席者：高野委員長＞
- 3月12日 山梨ことぶき勸学院卒業証書授与式 ＜出席者：高野委員長＞
- 3月13日 やまなし文学賞表彰式 ＜出席者：高野委員長＞
- 3月19日 第28回国民文化祭山梨県実行委員会第6回総会 ＜出席者：高野委員長＞
- 3月22日 鯉沢中部小学校閉校式 ＜出席者：石川委員＞
- 3月25日 新委員長就任記者会見 ＜出席者：杉原委員長＞
- 3月27日 校長辞令交付式 ＜出席者：杉原委員長＞
- 3月31日 退職者辞令交付式 ＜出席者：杉原委員長＞
- 4月1日 教育長辞令交付式 ＜出席者：杉原委員長＞
- 4月2日 考古博物館長辞令交付式 ＜出席者：杉原委員長＞
- 4月7日 都留興譲館高等学校開校式 ＜出席者：全委員＞
- 4月11日 文学館企画展 ＜出席者：杉原委員長＞  
・「村岡花子展 ことばの虹を架ける ～山梨からアンの世界へ～」
- 4月15日 ことぶき勸学院入学式 ＜出席者：杉原委員長＞
- 4月25日 保護司選考会 ＜出席者：杉原委員長＞  
美術館特別展 ＜出席者：石川委員長職務代理者＞  
・「動く！光る？魔法の芸術 キネティック・アート」
- 5月20日 1都9県教育委員会全委員協議会  
～21日 ・出席者：全委員  
・開催地：茨城県  
・議題等：「理科教育の充実とグローバル人材の育成について」ほか
- 5月22日 山梨県教育会定期総会 ＜出席者：杉原委員長＞
- 5月23日 山梨県高等学校PTA連合会定期総会 ＜出席者：杉原委員長＞  
かえで支援学校分教室視察 ＜出席者：杉原委員長、長田委員、飯室委員＞
- 5月28日 山梨県退職公務員連盟定期総会 ＜出席者：杉原委員長＞
- 6月4日 家読フォーラム＜出席者：杉原委員長＞
- 6月7日 山梨県PTA協議会定期総会 ＜出席者：杉原委員長＞
- 7月17日 全国都道府県教育委員会連合会平成26年度第1回総会等  
～18日 ・出席者：杉原委員長  
・開催地：福岡県  
・議題等：「地教行法改正後の教育委員会の運営について」ほか
- 7月19日 博物館企画展 ＜出席者：杉原委員長＞  
・「福岡市博物館所蔵 幽霊・妖怪画大全集」
- 7月24日 知事との意見交換会 ＜出席者：全委員＞
- 7月27日 UTY教育美術展表彰式 ＜出席者：杉原委員長＞

- 7月31日 全国高等学校総合体育大会激励 <出席者：飯室委員>
- 8月 2日 若田宇宙飛行士ミッション報告会 <出席者：杉原委員長>
- 8月 4日 全国高等学校総合体育大会激励 <出席者：石川委員長職務代理者>
- 8月 6日 全国高等学校総合体育大会激励 <出席者：杉原委員長>
- 8月 7日 全国高等学校総合体育大会激励 <出席者：白川委員>
- 8月13日 平成26年採用教員面接試問 <出席者：全委員>
- ～15日
- 8月19日 第2回管理職研修・教頭研修会 <出席者：杉原委員長、白川委員>
- 8月28日 1都9県教育委員会委員長協議会
- ～29日
- ・出席者：杉原委員長
  - ・開催地：長野県
  - ・議題等：「全国学力・学習状況調査結果等を活用した学力向上に向けた取り組みについて」ほか
- 9月 2日 保護司選考会 <出席者：杉原委員長>
- 9月19日 第69回国民体育大会選手団結団壮行式 <出席者：杉原委員長>
- 美術館特別展 <出席者：石川委員長職務代理者>
- ・「やまなしの戦後美術 ー四人の革新者たちー」
- 9月26日 文学館特別展 <出席者：石川委員長職務代理者>
- ・「谷崎潤一郎展 文豪に会う」
- 10月 7日 新任教育委員研究協議会 <出席者：飯室委員>
- 考古博物館特別展 <出席者：杉原委員長>
- ・「掘り起こされた音の形～まつりと音具の世界～」
- 10月10日 博物館企画展 <出席者：石川委員長職務代理者>
- ・「甲斐の黒駒～歴史を動かした馬たち～」
- 10月11日 甲府支援学校創立50周年記念式典 <出席者：飯室委員>
- 2013山梨私学のつどい(私学振興大会) <出席者：杉原委員長>
- 10月11日 第69回国民体育大会 <出席者：石川委員長職務代理者>
- ～12日
- 10月14日 新委員長就任記者会見 <出席者：石川委員長>
- 10月18日 農林高等学校創立110周年記念式典 <出席者：飯室委員>
- 11月 1日 あげぼの支援学校創立40周年記念式典
- <出席者：長田委員長職務代理者>
- 11月 5日 平成26年度山梨県教育功労者表彰式 <出席者：全委員>
- 11月14日 山梨県文化賞表彰式 <出席者：石川委員長>
- 美術館特別展 <出席者：石川委員長>
- ・「大阪新美術館コレクション 佐伯祐三とパリ ポスターのある街角」
- 11月15日 博物館入館100万人達成式典 <出席者：石川委員長>
- 11月22日 市川高等学校創立100周年記念式典 <出席者：石川委員長>
- 12月 4日 第1回図書館協議会 <出席者：石川委員長>

平成27年

1月 7日 平成27年度採用教頭・主幹教諭面接試問 <出席者：全委員>

～ 9日

1月13日 第70回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会  
選手団結団壮行式 <出席者：石川委員長>

1月14日 平成27年度採用校長面接試問 <出席者：全委員>

～16日

1月26日 全国都道府県教育委員会連合会平成26年度第2回総会等

- ・出席者：長田委員長職務代理者
- ・開催地：東京都
- ・議題等：「今後の地方教育行政について」ほか



## 第2 教育行政の点検・評価

### 1 評価の概要

#### (1) 趣旨

県教育委員会では次を行政評価の目的とし、所管する施策・事業の効果や目的達成度を点検・評価する。

##### ① 成果を重視した県民本位の行政の推進

県民の視点に立って施策・事業の成果等を検証し、事業の積極的な見直しや再構築を進め、成果を重視した行政運営を推進する。

##### ② 限られた財源や人材の効果的効率的な活用

社会経済情勢や県民ニーズの変化を踏まえ、不要不急な事業等を積極的に見直すことにより、財源、人材の効率的な配分を進め、県民が真に必要な施策・事業への重点化を図る。

##### ③ 県民に対する説明責任の徹底

施策・事業の目的や目標、成果を明らかにし、施策展開における県民への説明責任を果たす。

#### (2) 実施方法

点検・評価は、教育委員会が自主的に実施する「内部評価」と外部有識者による山梨県行政評価アドバイザー会議が実施する「アドバイザー評価」とする。

#### (3) 対象

① 内部評価は、平成26年度当初予算に計上された事業のうち、人件費・扶助費などの義務的経費、庁舎等の維持管理経費等に係る事業を除く24事業とする。

② アドバイザー評価は、山梨県行政評価アドバイザー会議が選定した事務事業の3事業とする。

#### (4) 評価方法

評価は「事務事業自主点検シート」により、事業担当課室が自主的に事務事業の点検を行うことを基本とし、そのうちアドバイザー評価に係る事務事業を公開で外部評価する。

評価の時点については、原則として平成25年度末現在とするが、評価に当たっては平成26年度上半期の実績等も勘案する。

## (5) 評価基準

### ① 活動量

「事業の目的」を達成するために行った取り組みが、予定された活動量を上げているかを評価するため、活動指標達成率に基づく数値判定を行う。

- a: 予定を超えた活動量がある (120%以上)
- b: 予定どおりの活動量がある (80%以上 120%未満)
- c: 予定したほど活動量がない (40%以上 80%未満)
- d: 予定した活動量に著しく足りない (40%未満)

### ② 成果

「事業の目的」を達成するために行った取り組みが、意図した成果を上げているかを評価するため、成果指標達成率に基づく数値判定を行う。ただし、成果を定量的に指標化することが困難な場合には、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断する。

- a: 意図した成果を十分に上げている (120%以上)。
- b: 意図した成果はほぼ上げている (80%以上 120%未満)。
- c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める (40%以上 80%未満)。
- d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない (40%未満)。

## 2 内部評価

### (1) 評価の概要

評価を行った24事業の活動量及び成果は次のとおりである。

#### ○ 活動量

「a: 予定を超えた活動量がある」	2事業
「b: 予定どおりの活動量がある」	21事業
「c: 予定したほど活動量がない」	該当なし
「d: 予定した活動量に著しく足りない」	1事業

#### ○ 成果

「a: 意図した成果を十分に上げている」	1事業
「b: 意図した成果はほぼ上げている」	22事業
「c: 意図した成果は十分ではないが、 対象や方法の改善により成果の向上が見込める。」	1事業
「d: 意図した成果が十分でなく、 成果を上げる方法も見あたらない。」	該当なし

このうち、「廃止」、「縮小」又は「実施方法等の変更」など、見直しの必要性が「有」の事業は、13事業となった。

※ 内部評価の結果一覧は、23頁の別表1のとおり。

### 3 アドバイザー評価（事務事業）

#### (1) 教育研修費 《総務課》

##### ① 事業内容

1 教育経営研修	新校長、新教頭、新主幹教諭、新教務主任、新生徒指導主事・主任、新学年主任・新学部主事、新研究主任、新進路指導主事、道徳教育推進教師、新特別支援学級担当、新特別支援教育コーディネーター、新防災教育リーダー、県立学校ネットワーク担当者及びPCリーダー、理科・視聴覚実習助手・講師、小学校経験3年目教員理科指導力向上、新期間採用教員
2 経年研修	五年経験者、十年経験者、中堅教員
3 教科等研修	各教科、外国語活動、特別活動、総合的な学習の時間、道徳、高校情報、産業教育、保健室での心のケア等
4 教育課題研修	国際理解教育、環境教育、福祉教育、学校図書館教育、新聞の教育利用、食育、校内研究の進め方、地震防災対策、期間採用、カリキュラム・マネジメント、キャリア教育、学校組織マネジメント、学校・家庭・地域連携教育等
5 教育相談研修	いじめ・不登校、児童生徒の理解と対応、ストレスマネジメント、教育相談基礎力、教育相談実践力等
6 相談支援研修	関係機関との連携
7 情報教育研修	情報セキュリティー・ネットトラブル対応、個人情報及び著作権の基本、メディア・リテラシー、タブレット活用、電子黒板活用、ワゴンプロジェクター活用、ホームページ作成、プレゼンテーション基礎、Excel2010活用、PowerPoint2010活用、デジビクチャー、FLASH、Premiere活用、マクロ(Excel VBA)基礎、ネットワーク基礎、サーバー構築基礎(Windows)等
8 外部共催研修	理科実験工作、身近な自然の指導法、体験で学ぶ火山、環境とものづくり、国際協力NGOセミナー、博物館を利用した授業づくり、山梨の考古学と埋蔵文化財活用

##### ② 活動量

活動指標	○研修開催日数 目標 196日 (内訳)
	教育経営研修 目標 45日
	経年研修(五年) 目標 5日
	経年研修(十年) 目標 10日
	経年研修(中堅) 目標 3日
	教科等研修 目標 64日
	教育課題研修 目標 17日
	教育相談研修 目標 16日
	情報教育研修 目標 25日
外部共催研修 目標 11日	
評価	○活動指標達成率 100% (実績196日) ○b: 予定どおりの活動量がある (80%以上120%未満)

##### ③ 成果

成果指標	○研修会のアンケート結果から、研修内容が資質の向上に役立ったと回答した者の受講者総数に占める割合
評価	○成果指標達成率 93.7% ○b: 意図した成果はほぼ上げている (80%以上120%未満)

##### ④ これまでの事業の見直し・改善状況

今日的な教育課題に対応し、学校現場のニーズに沿った質の高い研修内容とするため、所員による研修会企画ワーキンググループを組織し、毎年研修会の改編及び研修内容の見直しを行い、研修会の充実を図ってきている。

平成26年度は、前年度の141研修会から、廃止・統合・分割・新設を行い、145研修会を企画し、実施している。

また、より受講者の満足度の高い研修会にするために、魅力ある講師の人選、開催時期の検討、運営方法の工夫等、研修内容の見直しも行ってきた。

⑤ 一次評価（教育委員会評価結果）

見直しの 必要性	近年、いじめ・不登校等生徒指導上の諸課題への対応、学力の向上など、複雑かつ多様化する教育課題に対応するためには、個人の力量を培うだけでなく、学校組織マネジメントの視点に立って組織としての力も高めて行く必要がある。
有	そのため、管理職の研修だけでなく、各研修会に学校組織マネージメントの視点を積極的に取り込むなど、研修内容の見直しを進めていく。

⑥ アドバイザー（外部有識者3名）による評価

日高 アド バイザ ー	要改善	複雑かつ多様な教育現場での課題に対応するために、適切かつ効果的な教育研修を充実することは重要である。 そのため、本事業の対象としての集合研修の拡充が必要であると同時に、学校現場での職場研修(OJT)と連動させ、効果的な課題解決につながるよう研修企画者と学校現場とのコミュニケーションの仕組みを充実すべきである。 また、現場の教育実践の優れた成果を集約して「教育実践事例集」などを策定し、それらを集合研修において全県に普及するなどの取り組みが必要だと思われる。 以上により要改善とするのが適当であると思料する。
アド 土橋 バザ ー	要改善	研修対象者の未受講者が存在しているので、研修効果を確実にするため、対象者全員が受講できる体制をとっていただきたい。 研修講師に、企業経営者、企業の法務担当者など教育関係者以外の人材を選定し、組織マネジメント、コンプライアンス、リスク管理面等の意識改革を図っていただきたい。
五味 アド バイザ ー	要改善	経年研修の「5年経験者研修」の約17%の方が欠席している。 その全員が産休、育休、病気ではなく、中には精神的なストレスを抱えている方もいるのではないだろうか。 集合研修とともに、小規模なグループでミーティングできるような場を設けるのも必要ではないかと思う。 非常にストレスの多い仕事だと思うが、お互いに実情がわかっている方たちで話し合いをするのも意味のあることだと思うので、研修内容について検討をお願いしたい。

⑦ 二次評価（教育委員会再評価結果） ※ アドバイザー評価での指摘事項を踏まえた再評価

見直しの 必要性	複雑かつ多様化する教育課題を解決するため、現場教員へのアンケート調査などを利用しながら学校現場の課題を的確に把握し、課題解決につながる研修を企画していく。また、研修効果を高めるため、新校長等を対象とした研修については予備日を設けるなど、対象者全員が受講できるよう取り組んでいく。近年、重要性が高まっている学校組織マネジメントに関しては、外部の人材を活用した研修を企画し、組織力の向上を目指す。さらに、ストレスの多い環境の中で、各個人の課題を持ち寄り、グループ研修を通じて、悩みや課題の解決に向けて共同して取り組む場を設けていく。
有	

(2) 青少年長期自然体験活動事業費 《社会教育課》

① 事業内容

<p>○八丈島において、日常生活とかけ離れた自然体験、洋上体験、交流体験、環境教育等を行う。          (キャンプ生活、サバイバル踏破、ビンパーク、スノーケル、漁船体験、八丈島小中学生との交流、自然観察、八丈島の産業の学習、自主企画活動等)</p> <p>委託先: フロンティア・アドベンチャーやまなし少年海洋道中実行委員会</p> <p>①実行委員会 3回 委員 11名 事務局3名          ②指導者会議 5回 指導者12名 大学生リーダー5名          ③抽選会 県内3カ所 事務局2名、各教育事務所担当1名          ④現地調査 1回 事務局2名 (2泊3日)          ⑤事前研修 1回(1泊2日) 参加中学生50名、指導者12名、大学生リーダー5名          (県立愛宕山少年自然の家)          ⑥現地研修 8泊9日 参加中学生50名、指導者12名、大学生リーダー5名          (東京都八丈島八丈町垂戸キャンプ場)          ⑦事後研修 1回(日帰り) 参加中学生50名、指導者12名、大学生リーダー5名          (県立八ヶ岳少年自然の家)          ⑧その他 八丈島小中学生との交流が現地2回、八ヶ岳(八丈島外体験学習来県)1回、計3回</p>	
--	--

② 活動量

活動指標	○参加中学生数 (目標50人)
評価	○活動指標達成率 100% (実績50人) ○b: 予定どおりの活動量がある (80%以上120%未満)

③ 成果

成果指標	○IKRテストにおける事後調査の事前調査からの数値上昇ポイント(目標9.3ポイント)
評価	○成果指標達成率 122.6%(実績11.4ポイント) ○a: 意図した成果はほぼ上げている(120%以上)

④ これまでの事業の見直し・改善状況

<p>平成10年度から、参加希望者が3倍を超えていたので、参加者を10名増やし60名とする。          平成15年度からは、指導者数との関係で安全性の確保を優先するとともに、計画変更時の対応等を考慮し定員を50名に戻す。          また、県内中学生(保護者)のニーズに応えるべく、プログラム等の改正も随時行ってきた。          平成16年度までは国庫補助事業であったが、平成17年度からは一般財源化され、交付税の算定基礎となっている(三位一体の改革)。          平成23年度からは、本事業がふるさと納税の充当事業とされている。</p>
--

⑤ 一次評価 (教育委員会評価結果)

見直しの必要性	<p>長年にわたるプログラム改善に伴って、子どもたちの実質的な活動量と時間が増えた一方、一日の活動を振り返って反省し、それを基に次の日の活動の改善方策を策定する時間が少なくなってきた。</p> <p>自然体験活動を通して生きる力を育成しリーダー性を高めるためには、体験活動自体の充実と共に、その活動を通して自分の行動を振り返り、それをより良いものにしていく力の育成が大切である。</p> <p>そのためには、今後は、活動の振り返りの時間を充実するようプログラムを改善したい。</p> <p>その際、振り返りの観点として、近年、上手に人間関係を作れない生徒が増えているため「その活動を通してより良い人間関係を形成できたか」という点に重点を置き、自分を中心としてより良い仲間づくりができるような改善方策を策定させたい。</p>
有	

⑥ アドバイザー（外部有識者3名）による評価

日高 アド バイザ ー	要改善	<p>通常の学校教育のスキームでは体験できないアドベンチャー体験を通じて、中学生たちが地域リーダーとしての資質を開花させるチャンスを提供するユニークな事業であり、意図した成果を上げていると評価できる。</p> <p>その成果をさらに発展させるために、個々の生徒の資質を開花させるだけでなく、チームワークを形成したり集団をマネジメントする基本的な資質の向上を目的として、人間関係の構築や組織におけるリーダーシップの育成にも取り組む必要がある。</p> <p>以上により要改善とするのが適当であると思料する。</p>
アド バイザ ー 土橋	要改善	<p>参加者の安全性確保に、引き続き万全を期していただきたい。</p> <p>経済、社会環境の変化に対応したタイムリーなプログラムとなるよう日々、研究、改善していただきたい。</p> <p>また、参加者の体験活動が、活動終了後、周囲に好影響を及ぼすような機会、施策等を検討していただきたい。</p>
五味 アド バイザ ー	廃止	<p>県が行う事業として適当なのかという疑問を持った。</p> <p>今はいろいろな機会に恵まれていて、参加しようと思えば、県が主催しなくてもこういったチャンスに参加できる状況にある。</p> <p>自己負担金についても格安かも知れないが、決して安い金額ではない。</p> <p>その中で、県がわざわざリスクを冒して行うべき事業かどうか疑問を持ったことから、廃止とさせていただきます。</p>

⑦ 二次評価（教育委員会再評価結果） ※ アドバイザー評価での指摘事項を踏まえた再評価

見直しの 必要性	<p>本事業は、将来の地域のリーダーを県として育成するものであり、全県から選抜されたリーダーとしての資質を有する中学生が、山梨にはない海洋でのサバイバル生活を通して市町村の枠を超えた人間関係を構築する中で、その資質を向上をさせることに意義があり、その面でこれまでも高い効果を上げてきた。また、指導者の確保等の負担が大きいこと、県がこれまで蓄積してきたノウハウに対する信頼度が高いことなどから、県が本事業を継続していくこととする。</p> <p>今後は、リーダーとしての成長をさらに促すため、参加中学生が成果や課題を把握したうえで改善策を決定・実行し、その中で達成感や自己有用感を得られるよう、個々のプログラムについて、反省・振り返りの時間を確保するほか、人間関係形成能力の育成に向けた活動プログラムや指導方法の改善について検討する。また、参加者の体験がその周囲に好影響を及ぼすよう、各中学校で報告会を実施する等の取り組みを進めていく。</p>
有	

### (3) 定時制高校夜食事業費 《スポーツ健康課》

#### ① 事業内容

- 夜間学校給食  
夜間課程を置く高等学校における学校給食に関する法律第3条「夜間課程を置く高等学校の設置者は、当該高等学校において夜間学校給食が実施されるように努めなければならない」との定めにより、本県では全ての夜間定時制高校で夜間学校給食を実施している。
- 対象校及び対象者  
対象校：夜間定時制給食実施校 7校  
(完全給食:甲府工業、巨摩、都留、谷村工業、ひばりが丘(委託方式)、中央(委託方式)、  
補食給食(パン・牛乳のみ):山梨高校)  
対象生徒：有職生徒(定職に就いている者又は一年間に90日以上パート、アルバイトに就いている者)のうち、補助を希望する者
- 対象経費・補助限度額  
給食実施に必要な物資の購入に要する経費(賄い材料費として、各学校へ令達)  
一人一食あたり66円を限度
- 平成25年度実績:対象生徒81人 延べ13,669食に補助
- ※ なお、定時制課程は勤労青少年に対して学習の機会を保障するという観点から設置しているが、現在では多様な入学動機や学習歴を持つ生徒が増え、アルバイト等も含めた生徒の有職率は5割程度となっている。

#### ② 活動量

活動指標	①給食実施日数(目標:平均181日)      ②補助対象生徒数(目標:74人) ③補助対象食数(目標:13,738食)
評価	○活動指標達成率 ①93.4%(実績:平均169日) ②109.5%(実績:81人) ③99.5%(実績:13,669食) ○b:予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満)

#### ③ 成果

成果指標	
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業は有職生徒の経済的負担を軽減させるとともに、高等学校夜間定時制課程の修学の継続を促し、教育の機会均等を保障することを目的に設けている。</li> <li>・本事業により、対象生徒に給食費の負担を軽減させることができ、また安価でバランスの採れた給食を提供することができた。</li> <li>・その結果、生徒同士や教諭とのコミュニケーションの場となっているとの意見が現場から挙がるなど、修学継続や学習意欲の向上につながっていることから、意図した成果を上げている。</li> </ul>

#### ④ これまでの事業の見直し・改善状況

- 有職生徒への県費補助単価の見直し
  - ・平成18年度 76円11銭→76円
  - ・平成19年度 関東近県の単価を参考にし 76円→66円
- 食数減による調理員勤務時間の見直し
  - ・平成19年度～ 巨摩高等学校調理員6時間→5時間
- 補助事業実施要領の改正等
  - ・平成26年度～ 提出期日と提出様式の改正
  - ・消費税率の改正に伴う補助金単価の見直し 66円→67円

⑤ 一次評価（教育委員会評価結果）

見直しの 必要性	経済的に恵まれず、本事業を利用して、夜間学校給食により、1日の大半の栄養を得ている生徒もいることから、事業の継続は必要である。しかし、有職生徒のうち、「補助額が低く給食費が払えない」、「仕事の都合で給食の時間に登校できないため学校給食を食べられない」等の理由で本事業の補助を希望できない生徒が20%程度いる。多くの生徒が学校給食を食べることができるよう、本事業の補助単価の見直しなど、生徒にとって魅力ある補助のあり方を検討する。
有	また夜間学校給食時間を弾力的に行う等生徒にとって、より給食を食べやすい環境作りを行い、修学並びに就労の継続につなげるような制度を検討する。

⑥ アドバイザー（外部有識者3名）による評価

日高 アドバイザー	要改善	<p>定時制高校は、そもそも勤労青少年に対する学習機会の保障の観点から設置されてきた。</p> <p>本事業の夜食補助も、こうした観点から有職生徒の経済的負担を軽減することを通じて就学を継続することを主たる目的として昭和33年に開始され今日に至っている。</p> <p>しかしながら、現状では多様な入学動機や学習歴を持つ生徒が増え、アルバイト等を含めた生徒の有職率は5割程度となっている。</p> <p>そのため、必ずしも経済的事情により定時制課程を選択しているとは限らないケースも多く、それぞれの事情や背景はより複雑かつ個別的であると推測される。</p> <p>こうした実態を調査検証した上で、単に補助単価の見直しなどの対症療法ではなく、最も適正な補助形態はどのようなものであるか、再検討が必要である。</p> <p>いろいろな事情で補助を希望できない生徒もいることから、「給食」方式による以外の補助の方式も含めて、より公正な制度となるよう抜本的な再検討と考える。</p> <p>以上により要改善とするのが適当であると思料する。</p>
アド バイザー 土橋	要改善	<p>本事業の補助を諸事情により希望できない生徒が約20%存在している状況の中で、対象者すべてが公平に補助が受けられるよう給食時間、支給方法の見直し等を検討していただきたい。</p> <p>一方で、奨学給付金制度の充実等、子どもの貧困対策全体の中で真に必要な学生が支援を受けられるよう本事業のあり方について検討していただきたい。</p>
アド バイザー 五味	要改善	<p>補助を受けても給食費が払えない生徒がいる。</p> <p>補助対象者の条件に該当するか否か厳密に判断するのは困難と思うが、補助を受け負担が減ることにより、給食がとれ、学習を継続できるということであれば、補助対象者にとって支払いが可能なまでの補助をしてあげたいという思いはある。</p> <p>妥当な措置の検討をお願いしたい。</p>

⑦ 二次評価（教育委員会再評価結果） ※ アドバイザー評価での指摘事項を踏まえた再評価

見直しの 必要性	「補助額が低く給食費が払えない」、「仕事の都合で給食の時間に登校できない」などの理由で本事業の補助を希望できない生徒が補助対象となる生徒の20%程度おり、現行の制度には課題があると考えられる。
有	<p>そこで、すみやかに、給食時間の弾力的運用を図るなど、補助対象となる生徒に補助が行き渡るような取り組みを進めていく。</p> <p>また、夜間定時制に通う生徒の事情や背景は複雑であるため、生徒の実態把握を行った上で、子どもの貧困対策として、補助単価や補助形態の検討など、公正な制度となるよう必要な見直しを行う。</p>



別表 1

## 内部評価結果一覧

区 分		事業実施状況の判断(a~d)		見直しの必要性
※( )内の比率は数値判定の基準。「活動量と成果の判断」は、数値判定に対し、更に担当課室が各種要因等を総合的に勘案し、aからdを選択。		活動量	成果	評価「有」
a	活動量: 予定を超えた活動量がある(120%以上) 成 果: 意図した成果を十分に上げている(120%以上)	2	1	13 (54%)
b	活動量: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満) 成 果: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満)	21	22	
c	活動量: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満) 成 果: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満)	0	1	
d	活動量: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満) 成 果: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)	1	0	
計		24	24	

No.	担当課	細事業名	H26当初 予算額 (千円)	事業実施状況 の判断(a~d)		見直しの 必要性 評価
				活動量	成果	
1	総務課	一日教育委員会開催費	199	b	b	有
2	総務課	教育相談事業費	16,093	b	b	
3	義務教育課	帰国子女等教育指導費	213	b	b	有
4	義務教育課	英語教員海外派遣研修(2ヶ月)事業費	1,690	b	b	
5	義務教育課	小中学校生徒指導研究協議会開催費	185	b	b	
6	義務教育課	スクールカウンセラーネットワーク事業費	454	b	b	有
7	高校教育課	情報処理技術者活用事業費	8,343	b	b	
8	高校教育課	農工商・理科視聴覚実習助手認定講習会費	100	a	b	有
9	高校教育課	巡回教育相談費	142	b	b	有
10	新しい学校づくり 推進室	交流及び共同学習推進事業費	952	b	b	有
11	社会教育課	青少年問題協議費	617	b	b	有
12	社会教育課	子どもの読書活動推進事業費	102	d	c	有
13	社会教育課	地域教育連携事業費	600	b	b	
14	社会教育課	人権教育指導研修事業費	176	b	b	
15	社会教育課	シャトルバス運行費補助金	5,993	b	b	
16	スポーツ健康課	生涯スポーツ情報発信事業費	671	b	a	有
17	スポーツ健康課	スポーツ推進審議会開催事業費	161	a	b	
18	スポーツ健康課	市町村・社会体育関係団体指導事業費	243	b	b	有
19	スポーツ健康課	県体育協会補助金(諸スポーツ大会)	600	b	b	有
20	スポーツ健康課	県体育協会補助金(スポーツ少年団育成事業)	856	b	b	有
21	スポーツ健康課	山梨県スポーツ・レクリエーション祭開催事業費	4,239	b	b	
22	スポーツ健康課	やまなしスポーツ顕彰事業費	380	b	b	有
23	スポーツ健康課	学校体育団体等関係事業補助金	7,748	b	b	
24	スポーツ健康課	へき地及び長距離学校等給食パン及び委託炊飯による米飯配送費補助金	800	b	b	

別表2

## アドバイザー評価(事務事業)結果一覧

区分		活動量と成果の判断		見直しの必要性		
		活動量	成果	一次評価「有」	アドバイザー評価「有」	二次評価「有」
※( )内の比率は数値判定の基準。「活動量と成果の判断」は、数値判定に対し、更に担当課室が各種要因等(例:イベント当日の天候)を総合的に勘案し、aからdを選択。						
a	活動量: 予定を超えた活動量がある(120%以上) 成果: 意図した成果を十分に上げている(120%以上)	0	1	3 (100%)	3 (100%)	3 (100%)
b	活動量: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満) 成果: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満)	3	2			
c	活動量: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満) 成果: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満)	0	0			
d	活動量: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満) 成果: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)	0	0			
計		3	3			

No.	担当課	細事業名	H26当初 予算額 (千円)	活動量と成果の判断		見直しの必要性		
				活動量	成果	一次評価	アドバイザー評価	二次評価
1	総務課	教育研修費	2,818	b	b	有	有	有
2	社会教育課	青少年長期自然体験活動事業費	2,555	b	a	有	有	有
3	スポーツ健康	定時制高校夜食事業費	1,098	b	b	有	有	有

### 第3 「新やまなしの教育振興プラン」について

今日、少子化・高齢化の進行、グローバル化の進行、社会のつながりの希薄化、安全・安心に対する意識の高まり等、教育を取り巻く社会の状況は大きく変化しています。こうした中で、これからの社会を担う人材を育成する「教育」が果たす役割は、ますます大きくなっています。

山梨県教育委員会では、平成21年2月に計画期間を平成21年度から25年度とする本県教育振興の基本計画である「やまなしの教育振興プラン」を策定し、「ふるさとを愛し、世界に通じる人づくり」の基本理念の下、諸般の施策を推進して参りました。その結果、教育、スポーツ、文化などの各分野で着実な成果を上げてきたところですが、その一方で、新しい課題や今後とも重点的、継続的に取り組まなければならない課題も顕在化してきました。

このような状況を受け、本県教育の一層の振興を図るため、平成26年度から30年度までの5年間を計画期間とする『新やまなしの教育振興プラン』を策定しました。

この計画では、「未来を拓く『やまなし』人づくり」の基本理念の下、「夢と希望に向かって自ら学び、考え、行動する『たくましい力』を育てる」と、「他者を思いやり、社会の絆を深める『しなやかな心』を育む」の2つを基本目標とし、これを実現するために、10の基本方針および目標となる指標を設定しています。

今後は、この「新やまなしの教育振興プラン」に掲げた施策を着実に推進し、目標となる指標の達成状況を把握しながら施策の充実と必要な見直しに努めていきたいと考えています。

なお、「新やまなしの教育振興プラン」は、平成26年度を計画初年度とするものであることから、計画の進捗状況については掲載を省略する一方、平成25年度をもって計画期間が満了した「やまなしの教育振興プラン」について、目標となる指標の達成状況を掲載することと致しました。

# 1 「新やまなしの教育振興プラン」の施策体系と主な事業

『未来を拓く「やまなし」人づくり』の基本理念の下、次の2つを基本目標として「やまなし」の教育の振興を図ります。

- 夢と希望に向かって自ら学び、考え、行動する「たくましい力」を育てる
- 他者を思いやり、社会の絆を深める「しなやかな心」を育む

さらに、基本目標を達成するため、10の基本方針を設定しました。

- ①世界に通じ、社会を生き抜く力を育成します
- ②確かな学力と自立する力を育成します
- ③豊かな心と自己実現を図る力を育成します
- ④健康で豊かな生活を営むことができる「やまなしスポーツ」を創出します
- ⑤一人ひとりのニーズに応じた特別支援教育の充実に向けて取り組みます
- ⑥子どもたちが安全に安心して学ぶことができる教育環境づくりに取り組みます
- ⑦すべてに子どもたちが生き生きと学ぶことができる質の高い魅力ある学校づくりの実現を目指します
- ⑧家庭・地域・学校が連携した教育の実現に取り組みます
- ⑨生涯にわたり学び続けることができる環境づくりの実現に取り組みます
- ⑩県民一人ひとりが豊かな人生を送るための文化芸術の振興を進めます

## 【社会を生き抜く力】

基本方針1	世界に通じ、社会を生き抜く力を育成します	
施策項目	事業名	
(1) キャリア教育・職業教育の充実	<b>【学校施設課】</b> ・産業教育設備整備費 ・専門高等情報教育機器更新事業費	
(2) 国際教育の推進	<b>【義務教育課】</b> ・小中学校キャリア教育研究協議会 ・帰国子女等教育指導費 ・英語教員海外派遣研修（2ヶ月）事業費 ・ふるさと山梨郷土学習推進事業費 ・エネルギー教育推進事業 ・実践的防災教育推進事業	
(3) 外国語教育の充実	・学校安全教室推進事業（防災教室）  <b>【高校教育課】</b> ・キャリア教育推進支援事業費 ・地域と連携した工業系技術力向上対策事業費	
(4) 海外留学等の充実	・四川省教育交流推進事業費 ・スーパーグローバルハイスクール推進事業費 ・高校生留学促進事業費 ・英語力強化指導改善事業費 ・語学指導等を行う外国青年招致事業費 ・高等学校文化活動助成費	

(5) 伝統・文化に関する教育の推進	<p>【高校教育課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次世代を担う子どもの文化芸術体験事業</li> <li>・文化芸術による子供の育成事業（芸術家の派遣事業）</li> <li>・「やまなしに生きる」活用事業</li> <li>・エネルギー教育推進事業</li> </ul>
(6) 環境教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践的防災教育推進事業</li> <li>・教育情報ネットワーク整備事業費</li> <li>・県立学校教育情報化推進事業</li> <li>・情報処理技術者活用事業費</li> </ul>
(7) 命を守る安全・防災教育の充実	<p>【社会教育課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山梨・アイオワ青少年育成事業費</li> </ul> <p>【スポーツ健康課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・韓国忠清北道スポーツ交流事業費</li> <li>・学校安全教室推進事業（防災教室）</li> </ul>
(8) 情報教育の充実とICT環境の整備	<p>【総合教育センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教育研修費</li> </ul>

【知】

基本方針2	確かな学力と自立する力を育成します
施策項目	事業名
(1) 基礎的・基本的な知識・技能の習得の推進	<p>【学校施設課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理科教育設備整備費</li> </ul> <p>【義務教育課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上推進事業費</li> <li>・教育課程研究費</li> <li>・社会生活にいきる言語活動推進事業費</li> <li>・科学の甲子園ジュニア山梨県大会</li> <li>・理科の観察・実験指導等に関する研究協議実施事業費</li> </ul>
(2) 思考力・判断力・表現力等の育成	<p>【高校教育課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上のための指導・評価改善事業</li> <li>・学校図書館情報システム推進事業費</li> <li>・NIE推進事業費</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・語学指導等を行う外国青年招致事業費（再掲）</li> <li>・スーパーサイエンスハイスクール</li> <li>・科学の甲子園山梨県大会</li> </ul>
(3) 主体的に学ぶ態度の育成	<p>【総合教育センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎学力到達度調査事業費</li> <li>・教育研修費（再掲）</li> </ul>
(4) 言語活動の充実	
(5) 理数教育の充実	

基本方針3	豊かな心と自己実現を図る力を育成します
施策項目	事業名
(1) 道徳教育の推進	【総務課】 ・しなやかな心の育成推進事業費  【義務教育課】 ・いきいき教育地域人材活用推進事業費
(2) しなやかな心の育成プロジェクトの実施	・いじめ・不登校指導者研修会開催費 ・保護者のための不登校研修会開催費 ・スクールカウンセラー事業費（学校配置・要請訪問） ・スクールカウンセラーネットワーク事業費 ・スクールソーシャルワーカー活用事業費
(3) 豊かな体験活動の推進	・問題を抱える子ども等の自立支援事業費 ・山梨県いじめ問題対策連絡協議会開催費 ・地域連携教育相談事業費 ・適応指導教室運営事業費 ・小中学校生徒指導研究協議会開催費 ・いじめ・不登校ホットライン設置費
(4) 読書活動の充実	【高校教育課】 ・全日制高等学校生徒指導費 ・定時制高等学校生徒指導費 ・キャリア教育推進支援事業費（再掲）
(5) いじめ・不登校対策の充実	・高等学校文化活動助成費（再掲） ・次世代を担う子どもの文化芸術体験事業（再掲） ・文化芸術による子供の育成事業（再掲） ・土曜授業の教育支援体制構築事業 ・学校図書館情報システム推進事業費（再掲）
(6) 生徒指導の充実	・巡回教育相談費 ・県立学校いじめ問題対策委員会開催費  【社会教育課】 ・青少年長期自然体験活動事業費
(7) 教育相談の充実	・子どもの読書活動推進事業費 ・やまなし読書活動促進事業費 ・交流促進・にぎわい創出事業費 ・子ども読書活動支援環境整備事業費 ・人権教育指導研修事業費
(8) 人権教育の充実	・科学館管理運営委託費  【学術文化財課】 ・美術館教育普及事業費 ・博物館教育・交流活動事業費
(9) 福祉教育の充実	・考古博物館教育普及事業費 ・文学館教育普及事業費

(10) 博学連携の推進	【総合教育センター】 ・教育相談事業費 ・教育研修費（再掲）  【私学文書課】 ・山梨県いじめ問題調査会開催費
--------------	--

【体】

基本方針4	健康で豊かな生活を営むことができる「やまなしスポーツ」を創出します
施策項目	事業名
(1) 子どものスポーツ機会の充実	【スポーツ健康課】 ・韓国忠清北道スポーツ交流事業（再掲） ・県体育協会補助金 ・地域を活用した学校丸ごと体力向上推進事業 ・学校体育団体等関係事業補助金 ・健康・体力づくり実践事業費 ・学校体育指導力向上事業費 ・運動部活動外部指導者派遣事業費 ・北杜高校馬飼育管理事業費 ・各種大会への指導者派遣事業
(2) 健やかな体の育成	・山梨県学校保健会事業費補助金 ・養護教諭研修会等事業費 ・保健大会等事業費 ・児童生徒健康診断等委託事業費 ・県立特別支援教育諸学校要保護及び準要保護児童生徒医療費扶助費 ・学校保健課題解決支援事業費 ・学校栄養職員研修会等事業費 ・学校給食大会費 ・食材点検、検便委託事業費 ・学校における食育推進事業費
(3) ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	・食材検査技術習得支援事業費 ・広域スポーツセンター運営事業費 ・地域スポーツ推進人材育成・派遣事業費 ・生涯スポーツ情報発信事業費 ・身近な地域スポーツ促進事業費 ・スポーツ推進審議会開催事業費 ・市町村・社会体育関係団体指導事業費 ・オリンピック事前合宿等誘致基礎調査費 ・小瀬スポーツ公園情報システムサーバー管理費 ・山梨県スポーツレクリエーション祭開催事業費
(4) 住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備	・いきいき山梨ねりんピック実行委員会事業費補助金 ・県立高校体育施設開放事業費 ・緑が丘スポーツ公園管理費 ・緑が丘スポーツ公園改修費 ・八代射撃場管理費 ・八ヶ岳スケートセンター管理費 ・本栖湖青少年スポーツセンター管理費 ・やまなしスポーツ顕彰事業費

(5) 競技力の向上	<p>【スポーツ健康課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・競技馬管理委託費</li> <li>・クレ射撃競技練習場確保事業費補助金</li> <li>・県小中学校体育連盟補助金</li> <li>・県高等学校体育連盟補助金</li> <li>・国体選手派遣事業費</li> <li>・国体選手派遣補助金</li> <li>・国体選手派遣費等補助金</li> </ul> <p>【高校総体推進室】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年度全国高等学校総合体育大会開催費</li> </ul>
------------	--

【特別支援教育の充実】

基本方針5	一人ひとりのニーズに応じた特別支援教育の充実に向けて取り組みます	
施策項目	事業名	
(1) 特別支援学校における支援体制の整備	<p>【高校教育課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育センター・初任者研修費（特別支援）</li> <li>・所属校・初任者研修費（特別支援）</li> </ul>	
(2) 就学前、小・中学校、高等学校における特別支援教育の充実	<p>【新しい学校づくり推進室】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育体制強化事業費</li> <li>・障害児適正就学推進委員会開催費</li> <li>・特別支援教育担当職員研修費</li> </ul>	
(3) 交流及び共同学習の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育概況・指導集録発行事業費</li> <li>・医療ケア支援事業費</li> <li>・高等学校に在籍する発達障害等サポート事業</li> <li>・交流及び共同学習推進事業費</li> </ul>	
(4) 教員の専門性の向上	<p>【総合教育センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害のある子どもたちのための教育相談事業費</li> <li>・特別支援学校教職員研修等事業費</li> </ul>	
(5) 関係機関との連携による特別支援教育の総合的な推進		

【教育環境づくり】

基本方針6	子どもたちが安全に安心して学ぶことができる教育環境づくりに取り組みます	
施策項目	事業名	
(1) 教職員等の指導体制の充実	<p>【総務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数教育施策（はぐみプラン）</li> </ul> <p>【学校施設課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合情報システム整備事業費</li> <li>・高等学校教材設備近代化事業費</li> <li>・施設維持管理事業費</li> <li>・高等学校設備整備事業費（総合学科等）</li> <li>・桂高校跡地整備事業費</li> </ul>	



<p>(2) 学校運営システムの充実</p>	<p>【学校施設課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模施設整備事業費</li> <li>・総合制高校施設整備費</li> <li>・定時制高校施設整備費</li> <li>・県立学校冷房設備設置費</li> <li>・甲府支援学校等施設維持管理費</li> <li>・わかば支援学校建設事業費</li> <li>・わかば支援学校設備整備事業費</li> <li>・その他支援学校等施設整備費</li> <li>・新しい高等支援学校整備事業費</li> <li>・県立学校等の夜間警備委託</li> </ul>
<p>(3) 学校施設の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県立学校等の建築物定期点検業務委託</li> <li>・教育機関の各種設備保安業務委託</li> </ul> <p>【義務教育課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数教育施策（はぐみプラン）</li> <li>・実践的防災教育推進事業（再掲）</li> <li>・被災幼児児童生徒就園就学支援事業費補助金</li> </ul> <p>【高校教育課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価</li> <li>・学校評議員設置費</li> </ul>
<p>(4) 安全・安心な教育環境の確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践的防災教育支援事業（再掲）</li> <li>・交通被災遺児就学奨励費補助金</li> <li>・公立高等学校就学支援金</li> <li>・高校生奨学給付金交付事業費</li> <li>・特別支援学校児童生徒就学援助金</li> <li>・育英奨学金運営費補助金</li> <li>・育英奨学金貸付金補助金</li> <li>・就学奨励費貸付金（定時制課程等就学奨励費）</li> <li>・学び直し支援金</li> </ul> <p>【スポーツ健康課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費</li> <li>・日本スポーツ振興センター災害共済給付事業費</li> </ul>
<p>(5) 就学の奨励</p>	<p>【総合教育センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育研修費（再掲）</li> </ul> <p>【私学文書課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私立学校耐震診断実施事業費補助金</li> <li>・安心こども基金耐震化支援事業費補助金</li> <li>・学び直し支援金</li> <li>・私立高等学校授業料減免事業補助金</li> <li>・私立高等学校等就学支援金</li> <li>・私立高等学校等奨学給付金</li> </ul>

基本方針7	すべての子どもたちが生き生きと学ぶことができる質の高い魅力ある学校づくりの実現を目指します
施策項目	事業名
(1) 優れた人材の確保と教職員の適正配置	<p>【義務教育課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育センター初任者研修費（小・中）</li> <li>・所属校初任者研修費（小・中）</li> <li>・幼稚園新任教員研修費</li> <li>・十年経験者研修費</li> <li>・英語教員海外派遣研修（2ヶ月）事業費（再掲）</li> <li>・学力向上推進事業費（再掲）</li> <li>・教育課程研究費</li> <li>・指導者研修費</li> </ul>
(2) 免許更新制の円滑な実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員等中央研修</li> <li>・現職研修（教職大学院・国内大学・総合教育センター）</li> <li>・民間企業等派遣研修</li> <li>・理科の観察・実験指導等に関する研究協議実施事業費</li> <li>・小学校経験3年目教員理科指導力向上研修</li> <li>・学校間交流・連携の取組</li> </ul> <p>【高校教育課】</p>
(3) 教員の資質能力・実践的指導力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・十年経験者研修費</li> <li>・学校訪問指導費</li> <li>・学校教育指導重点作成費</li> <li>・新産業技術等職業高校教員研修事業費</li> <li>・農工商、理科視聴覚実習助手認定講習費</li> <li>・各種中央研修（独立行政法人教育研修センター）</li> <li>・国内大学院、大学、総合教育センター等留学生派遣</li> <li>・民間企業等派遣研修</li> <li>・県立学校海外留学生研修、県立高等学校英語教員アイオワ州派遣研修</li> </ul>
(4) 異校種間交流・連携の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育センター・初任者研修</li> <li>・学校間交流・連携の取組</li> <li>・スーパーサイエンスハイスクール（再掲）</li> <li>・学校評議員設置費</li> <li>・学校評価</li> <li>・高大連携（山梨大学公開授業、出前講座、他）</li> </ul>
(5) 魅力と活力ある高等学校づくりの推進	<p>【新しい学校づくり推進室】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校改革アンケート調査事業費</li> </ul> <p>【総合教育センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校経験3年目教員理科指導力向上研修</li> <li>・教育研修費（再掲）</li> <li>・課題研究事業費</li> </ul>

(6) 大学等の高等教育の振興	<b>【私学文書課】</b> ・私学教育振興会活動費補助金 ・専修学校各種学校協会活動費補助金 ・公立大学法人評価委員会運営費 ・私立学校運営費補助金 ・私立幼稚園障害児就園事業補助金 ・私立高等学校等就学支援金（再掲） ・私立高等学校授業料減免事業費補助金（再掲） ・被災児童生徒等私立学校授業料減免事業補助金
(7) 私立学校の振興	・高校生修学支援等基金積立金 ・私立学校耐震診断実施事業費補助金  <b>【企画課】</b> ・大学コンソーシアムやまなし負担金

**【家庭・地域・学校の連携】**

基本方針8	家庭・地域・学校が連携した教育の実現に取り組みます	
施策項目	事業名	
(1) 幼児教育の充実	<b>【義務教育課】</b> ・幼児教育振興事業費  <b>【社会教育課】</b>	
(2) 家庭教育支援の充実	・父親の子育て参加支援事業費 ・幼児教育放送「子育て日記」放映事業費 ・子育て相談総合窓口設置事業費 ・子育て支援リーダーステップアップ事業費 ・放課後子どもプラン推進事業費	
(3) 地域の教育力の向上	・子どもクラブ活性化事業費 ・青少年育成山梨県民会議補助金 ・地域教育連携事業費 ・社会教育委員費 ・社会教育関係団体活性化事業費補助金	
(4) 社会教育の環境整備	・社会教育指導者養成事業費 ・青少年長期自然体験活動事業費（再掲） ・やまなし若者中心市街地活性化協働事業費 ・山梨・アイオワ青少年育成事業費（再掲）	
(5) 青少年体験活動の充実	・子どもの読書活動推進事業費（再掲） ・子ども読書活動支援環境整備事業費（再掲）	
(6) 子どもの読書活動支援		

【生涯学習環境づくり】

基本方針9	生涯にわたり学び続けることができる環境づくりの実現に取り組みます	
	施策項目	事業名
(1) 多様な学習機会の提供及び生涯学習推進体制の充実		<b>【社会教育課】</b> ・交流促進・にぎわい創出事業費（再掲） ・科学館管理運営委託費（再掲） ・館外奉仕費 ・山梨ことぶき勸学院運営費 ・やまなし女性国際セミナー開催事業費
(2) 生涯学習環境の充実		<b>【生涯学習文化課】</b> ・生涯学習審議会開催費 ・やまなしまなびネットワークシステム運営費 ・生涯学習推進センター業務委託費 ・キャンパスネットやまなし運営費 ・生涯学習推進センター業務委託費 ・県民コミュニティーカレッジ事業費
(3) 学習成果の活用支援		

【文化芸術の振興】

基本方針10	県民一人ひとりが豊かな人生を送るための文化芸術の振興を進めます	
	施策項目	事業名
(1) 文化芸術に親しむ機会の充実		<b>【社会教育課】</b> ・科学館管理運営委託費（再掲）  <b>【学術文化財課】</b> ・美術館事業費 ・博物館事業費 ・考古博物館事業費
(2) 文化芸術活動への支援		・文学館事業費 ・文化財保存事業費補助金 ・文化財保護調査費 ・無形民俗文化財保存事業費 ・県有文化財の管理・調査・指導費 ・国・県指定文化財の管理指導・研修費 ・近代和風建築総合調査事業費
(3) 文化財の保存と継承		・山梨近代人物館整備事業費 ・埋蔵文化財発掘調査費 ・市町村埋蔵文化財発掘調査費補助金 ・国史跡大丸山古墳整備事業費 ・美術館教育普及事業費（再掲） ・博物館教育・交流活動事業費（再掲） ・考古博物館教育普及事業費（再掲）
(4) 博学連携の推進（再掲）		・文学館教育普及事業費（再掲）  <b>【生涯学習文化課】</b> ・県民文化ホール運営管理費 ・山梨芸術劇場開催費 ・県民文化祭費補助金

## 2 「やまなしの教育振興プラン」の達成状況

### (1) 達成状況の点検

目標となる指標の達成状況を把握しながら、計画に沿って施策・事業が着実に推進されているか、自ら点検・評価を行い、その結果を定例教育委員会で報告及びホームページで公表してきました。

平成25年度については、計画期間満了年度となることから、5年間の計画期間の取り組み状況の検証を行うとともに目標値に達成しなかった項目についてはその原因分析に努め、新プランでの施策の充実につなげていきます。

### (2) 達成率の計算方法

$$\frac{(\text{平成25年度の実績値}) - (\text{平成19年度の現況値})}{(\text{平成25年度の目標値}) - (\text{平成19年度の現況値})} \times 100$$

### (3) 進捗状況

プランに掲げた目標となる指標73項目の達成状況(事業廃止等の17項目を除く)

進捗率	項目数	比率(%)
100%以上	33	45.2
80%以上100%未満	9	12.3
50%以上80%未満	12	16.4
0%以上50%未満	8	11.0
0%未満	11	15.1
計	73	

### (4) 主な項目の状況

①達成率の高いもの	H25目標値	H25実績値
「不登校生の人数(減少数)」(高校)	280人	185人
「企業等で実習体験をしている工業系高校の生徒数」	300人	927人
「『学校の決まりを守っている』と回答した児童数」(小学校)	90.0%	91.9%
②達成率の低いもの	H25目標値	H25実績値
「暴力行為の件数(減少数)」(小学校)	3件	38件
「暴力行為の件数(減少数)」(中学校)	90件	195件
「企業等の研修に参加した高校教員の数」	180人	129人

施策	指標	指標の概要	H19年度の 現況値	H25年度の 目標値	H25年度の 実績値	達成率 %
◆ 学校教育の充実						
体系的なキャリア教育の推進	夢や目標を持っている状況	・「全国学力・学習状況調査」における「将来の夢や目標を持っている」の設問に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合	小 86.7 %	小 90 %	小 89.5 %	84.8
			中 73.0 %	中 80 %	中 77.3 %	61.4
		・「山梨県公立高等学校教育課程実施状況調査」における「将来の夢や目標を持っている」の設問に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合	高 70.4 %	高 80 %	高 - %	H21年度調査廃止
	インターンシップの実施状況	・就業体験を実施している高校の割合	高 65.6 %	高 80 %	高 80 %	100
	企業実習への参加状況	・企業等で実習体験をしている生徒の数	高 150 人	高 300 人	高 927 人	518
	技術研修への参加状況	・企業等の研修に参加した教員の数	高 162 人	高 180 人	高 129 人	-183.3
確かな学力の育成	国語についての理解の状況	・「全国学力・学習状況調査」における「国語の授業の内容はよくわかる」の設問に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合	小 81.8 %	小 90 %	小 83.1 %	15.9
			中 72.1 %	中 80 %	中 74.4 %	29.1
		・「山梨県公立高等学校教育課程実施状況調査」における「国語の勉強がどの程度分かるか」の設問に「よく分かる」「だいたい分かる」と回答した生徒の割合	高 57.7 %	高 70 %	高 - %	H21年度調査廃止
	算数(数学)についての理解の状況	・「全国学力・学習状況調査」における「算数(数学)の授業の内容はよくわかる」の設問に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合	小 79.2 %	小 90 %	小 81.9 %	25
			中 62.1 %	中 70 %	中 71 %	112.7
		・「山梨県公立高等学校教育課程実施状況調査」における「数学の勉強がどの程度分かるか」の設問に「よく分かる」「だいたい分かる」と回答した生徒の割合	高 51.3 %	高 70 %	高 - %	H21年度調査廃止

施策	指標	指標の概要	H19年度の 現況値	H25年度の 目標値	H25年度の 実績値	達成率 %
確かな学力の育成	英語についての理解状況	・「山梨県公立高等学校教育課程実施状況調査」における「英語の勉強がどの程度分かるか」の設問に「よく分かる」「だいたい分かる」と回答した生徒の割合	高 45.5 %	高 60 %	高 - %	H21年度調査廃止
	評価規準の整備状況	・学習指導要領に示された目標に沿った指導と評価を実践するために、各教科毎に学力を観点別にとらえた評価規準を整備している学校の割合	小 91.2 %	100 %	小 100 %	100
			中 89.6 %		中 100 %	100
			高 92.5 %		高 100 %	100
	家庭学習の取組状況	・「全国学力・学習状況調査」における「学校の授業時間以外に普段、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしていますか」の設問に「全くしてない」と答えた児童生徒の割合	小 3.6 %	小 2 %	小 2.8 %	50
			中 9.3 %	中 5 %	中 6.8 %	58.1
		・「山梨県公立高等学校教育課程実施状況調査」における「学校の授業以外に、1日だいたいどのくらい勉強しますか」の設問に「全く、または、ほとんどしない」と答えた生徒の割合	高 28.2 %	高 15 %	高 - %	H21年度調査廃止
「総合的な学習時間」への興味 の状況	・「全国学力・学習状況調査」における「総合的な学習の時間の勉強は好きですか」の設問に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた児童生徒の割合	小 82.4 %	小 90 %	小 - %	H24年度調査廃止	
		中 68.5 %	中 80 %	中 - %		
校種間連携の状況	・教員や生徒により小中学生への授業等を実施している高校の割合	高 62.1 %	高 80 %	高 76.7 %	81.6	

施策	指標	指標の概要	H19年度の 現況値	H25年度の 目標値	H25年度の 実績値	達成率 %
豊かな心の育成	規範意識の状況	・「全国学力・学習状況調査」における「学校のきまりを守っている」の設問に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合	小 88.8 %	90 %	小 91.9 %	258.3
			中 87.1 %		中 93.6 %	224.1
		・「山梨県高等学校教育課程実施状況調査」における「学校の規則を守っている」の設問に、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した生徒の割合	高 85.2 %		高 — %	H21年度調査廃止
	道徳教育の推進状況	・道徳の授業を地域住民や保護者に公開している学校の割合	小 34.8 % 中 27.1 %	70 %	小 94.5 % 中 86.2 %	169.6 137.8
	思いやりの心の状況	・「全国学力・学習状況調査」における「人が困っているときは、進んで助けている」の設問に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合	小 82.4 % 中 77.6 %	90 %	小 — % 中 — %	H24年度調査廃止
	豊かな体験活動状況	・「全国学力・学習状況調査」における「海、山、湖、川などで遊んだ経験がある」の設問に「何度もあった」「時々あった」と回答した児童の割合(小学校)	小 84.8 %	90 %	小 — %	H21年度調査廃止
		・「全国学力・学習状況調査」における「海、山、湖、川などに行つて、自然の素晴らしさを感じた経験がある」の設問に「何度もあった」「時々あった」と回答した生徒の割合(中学校)	中 86.4 %		中 — %	H21年度調査廃止
高校芸術文化祭への参加状況	・文化部の活動を充実させるために行われている高校芸術文化祭への参加者数	18,416 人	20,000 人	22,097 人	232.4	
いじめの状況	・「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」における公立学校の「いじめの認知件数」	小 251 件	小 200 件	小 — 件	H24年度から調査方法が変更されたため指標から削除	
		中 319 件	中 230 件	中 — 件		
		高 169 件	高 100 件	高 — 件		



施策	指標	指標の概要	H19年度の 現況値	H25年度の 目標値	H25年度の 実績値	達成率 %
豊かな心の育成	不登校の状況	・「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」における公立学校の「不登校児童生徒」の人数	小 188 人	小 160 人	小 131 人	203.6
			中 995 人	中 700 人	中 717 人	94.2
			高 299 人	高 280 人	高 185 人	600
	暴力行為の状況	・「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」における公立学校の「暴力行為」の件数	小 6 件	小 3 件	小 38 件	-1066.7
			中 135 件	中 90 件	中 195 件	-133.3
			高 72 件	高 50 件	高 26 件	209.1
	読書への取組状況	・「全国学力・学習状況調査」における「家や図書館で、普段、1日あたりどれくらいの時間、読書をしますか」の設問に「全くしない」と答えた児童生徒の割合	小 15.4 %	小 10 %	小 16.5 %	-20.4
			中 32.5 %	中 20 %	中 28.6 %	31.2
		・「山梨県公立高等学校教育課程実施状況調査」における「学校の授業以外で1日だいたい、どのくらい読書をしますか」の設問に「全く、または、ほとんどしない」と答えた生徒の割合	高 50.5 %	高 30 %	高 - %	H21年度調査廃止
健やかな体の育成	運動・スポーツの実施状況	・「山梨県新体力テスト・健康実態調査」で授業以外で週3日以上運動・スポーツを実施している小学生(5・6年生)の割合	小 48.2 %	小 65 %	小 46.6 %	-9.5
	体力・運動能力の状況	・「山梨県新体力テスト・健康実態調査」で小学生(5年生)のボール投げの平均値のピーク時(昭和56年)の値に対する割合	小 81.7 %	小 90 %	小 75.9 %	-69.9
	薬物乱用防止への取組状況	・薬物乱用防止教室を実施している学校の割合	中 29.2 %	中 60 %	中 51.7 %	73.1
			高 87.5 %	高 100 %	高 87.1 %	-3.2
	朝食の摂取状況	・「山梨県新体力テスト・健康実態調査」で児童生徒が朝食を摂取している割合	小 91 %	小 95 %	小 92.4 %	35
			中 84 %	中 90 %	中 86.9 %	48.3
			高 78.3 %	高 90 %	高 84.7 %	54.7
	食育の推進状況	・食に関する指導全体計画を作成している学校の割合	小 64.2 %		小 100 %	100
中 53.8 %			100 %	中 100 %	100	
高 10.2 %				高 71.4 %	68.2	

施策	指標	指標の概要	H19年度の 現況値	H25年度の 目標値	H25年度の 実績値	達成率 %
特別支援教育の充実	「個別指導計画」の作成状況	・一人ひとりの児童生徒の障害の状態や発達段階等に応じた学習指導を行うための「個別の指導計画」を作成している小中学校の割合	小 57.2 % 中 39.8 %	70 %	小 86.5 % 中 80 %	228.9 133.1
	「個別教育支援計画」の作成状況	・一人ひとりの児童生徒の教育的ニーズに応じ、関係機関が連携して適切な指導及び必要な指導を行うための「個別の教育支援計画」を作成している小中学校の割合	小 46.2 % 中 35.7 %	70 %	小 80.5 % 中 78.9 %	144.1 125.9
	自立と社会参加の状況	・県立特別支援学校高等部の新卒生徒の就職割合	14.6 %	20 %	19.5 %	90.7
時代の要請に応える教育の推進	環境教育への取組状況	・省エネ・省資源活動等に取り組んでいる学校の割合	小 87.8 % 中 84.4 % 高 75.9 %	100 %	小 100 % 中 100 % 高 100 %	100 100 100
	福祉教育への取組状況	・福祉の心を培い、福祉の実践力を高めるための福祉教育に取り組む高校の割合 ※ 小・中は100%達成済	高 92 %	高 100 %	高 100 %	100
	情報教育への対応状況	・コンピュータや提示装置等を活用して指導する能力を持つ教員の割合	小 56.8 % 中 56.3 % 高 64.3 %	小 70 % 中 70 % 高 80 %	小 67.9 % 中 63.3 % 高 68.5 %	84.1 51.1 26.8
	高大連携への取組状況	・大学教員による授業を取り入れている高校の割合	高 69 %	高 80 %	高 87 %	163.6
学校教育の環境整備	学校評価及び公表への取組状況	・教育活動に係る自己評価に対する学校関係者評価を実施・公表している学校の割合	小 39.9 %	100 %	小 91.7 %	86.2
			中 43.8 %		中 86.2 %	75.4
			高 71.7 %		高 100 %	100

施策	指 標	指 標 の 概 要	H19年度 の現況値	H25年度 の目標値	H25年度 の実績値	達成率 %
<b>◆ 家庭・地域・学校の連携</b>						
へ の 支 援 教 育 ・ 家 庭 教 育	保・幼・小の連携 状況	・保育所や幼稚園との交流活動を年 に3回以上行った小学校の割合	小 39 %	小 60 %	小 77.9 %	185.2
	ふれ合い体験の 実施状況	・乳幼児とのふれ合い体験を実施し ている高校の割合	高 79.3 %	高 100 %	高 100 %	100
の 地 域 全 体 で 取 り 組 む 教 育	学校応援団の取 組状況	・様々な知識や技能を持つ地域住 民が学校や家庭、地域に貢献でき るための仕組みづくりに取り組んだ 市町村の割合	0	100 %	100 %	100
	開かれた学校づ くりのための取組 状況	・学校のホームページで情報提供を 行っている学校の割合 ※ 高校は100%達成済	小 62.2 % 中 60.2 %	80 %	小 76.8 % 中 72.4 %	82 61.6
<b>◆ 生涯学習の推進</b>						
体 生 涯 学 習 充 実 推 進	自主的な学習活 動への取組状況	・「やまなしまナビネットワークシス テム」で提供している学習機会や人材 等の学習情報へのアクセス件数	836,370 件	1,000,000 件	573,874 件	-160.4
習 多 機 会 の 生 涯 提 供	多様な学習活動 への取組状況	・県、市町村、大学、民間団体等が 連携し、多様な学習機会を提供する 「キャンパスネットやまなし」に入学し た人の数(累計)	3,098 人	5,000 人	5,298 人	115.7
学 習 成 果 の 活 用 支 援	学習活動に意欲 的に取り組んで いる状況	・「キャンパスネットやまなし」におい て所定の単位を取得し、奨励賞を交 付された学習者の数(累計)	1,154 人	2,300 人	2,911 人	153.3
	学校応援団の取 組状況【再掲】	・様々な知識や技能を持つ地域住 民が学校や家庭、地域に貢献でき るための仕組みづくりに取り組んだ 市町村の割合	0	100 %	100 %	100

施策	指標	指標の概要	H19年度の 現況値	H25年度の 目標値	H25年度の 実績値	達成率 %
◆ スポーツの振興						
生涯スポーツの振興	総合型地域スポーツクラブの設置状況	・いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができるよう、総合型地域スポーツクラブを設置している県内市町村の割合	53.6 %	100 %	88.9 %	76.1
	スポーツへの取組状況	・週1回以上スポーツを実施している成人の割合	32.4 %	50 %	39.1 %	38.1
競技スポーツの振興	競技レベルの状況	・国民体育大会における個人、団体の上位8位以内の入賞数	83 人・団体	100 人・団体	79 人・団体	-23.5
	アンチ・ドーピングへの取組状況	・選手、指導者がアンチ・ドーピングへの意識啓発のための講習会に参加している県内競技団体の割合	70 %	100 %	100 %	100
	一貫指導体制の推進状況	・トップレベルの競技者の養成・確保のための一貫指導体制を確立している競技団体の割合	55 %	100 %	78 %	51.1
◆ 文化の振興						
文化機能の充実	舞台芸術公演への県民の参加状況	・県民文化ホールで開催した主催事業への入場者数	17,951 人	20,000 人	30,587 人	616.7
文化活動への支援	博学連携の実施状況	・県立博物館と連携して教育活動を行っている学校の割合	小 40 % 中 34 % 高 31 %	50 %	小 48.3 % 中 47.7 % 高 23 %	83 85.6 -42.1
	県民文化祭への参加状況	・県民の文化芸術活動の発表及びその鑑賞の場である県民文化祭への参加者数	218,973 人	222,000 人	172,762 人	-1526.6
文化財の保存と継承	文化財の保存・活用状況	・県内の国・県指定文化財の件数	660 件	690 件	679 件	63.3